

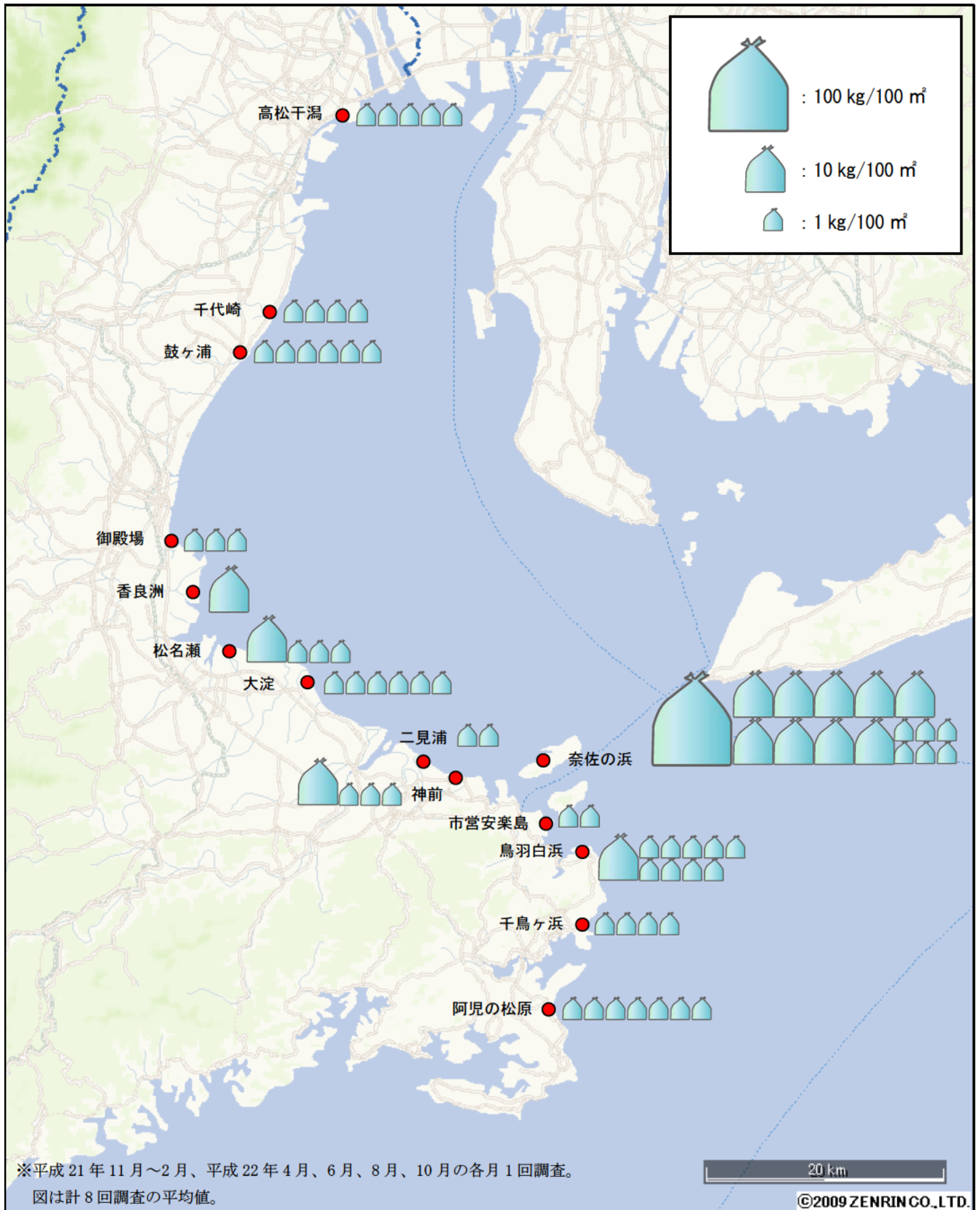
三重県海岸漂着物実態調査

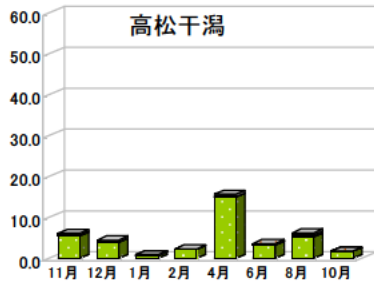
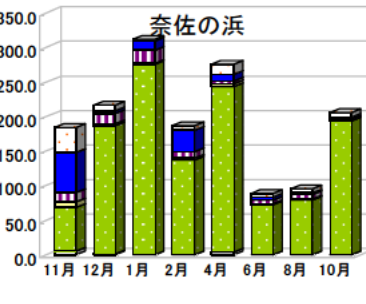
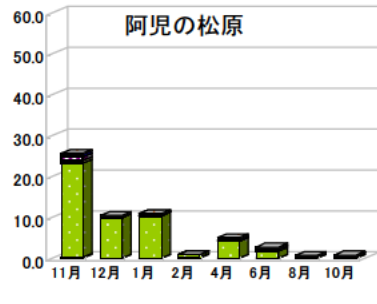
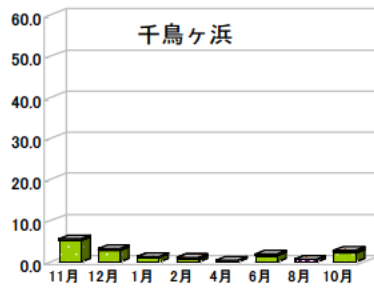
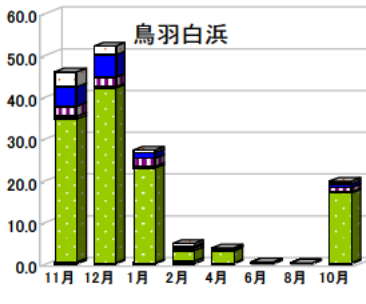
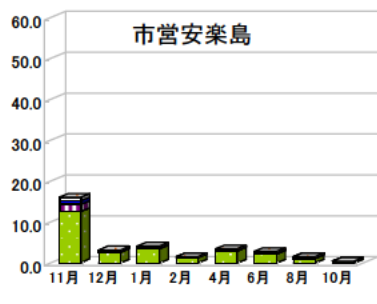
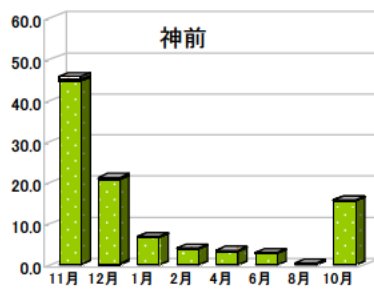
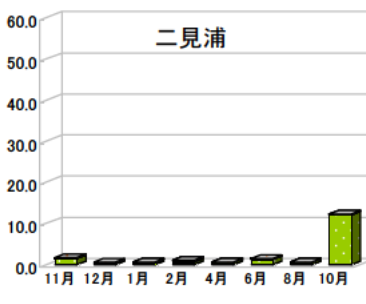
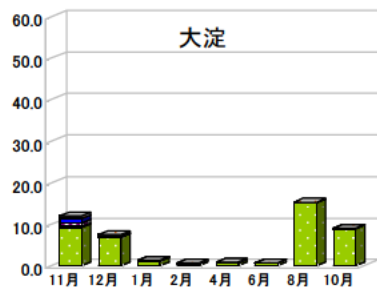
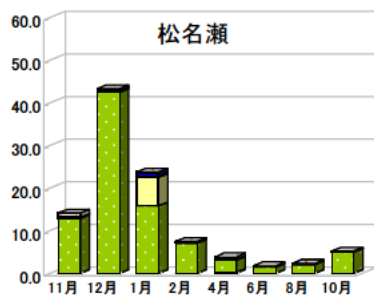
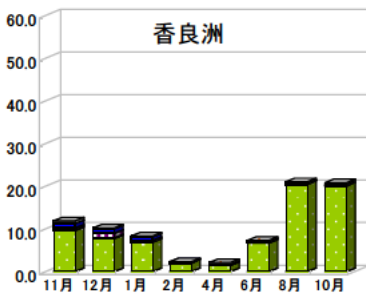
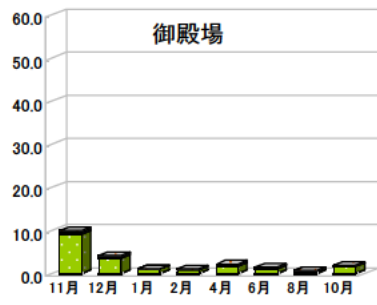
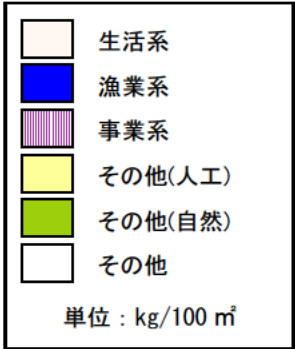
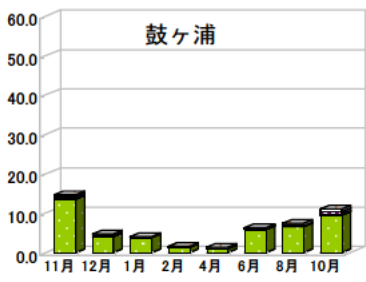
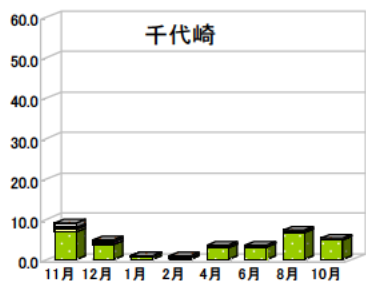
調査のあらまし

(平成21年11月～平成22年10月)



海岸ゴミ調査結果





※図中 11月～2月は前年度同調査結果。

河川ゴミ調査結果

※灌木・流木を含む。

ゴミが 100 袋 / 100m 以上の地点

雲出川 (地点: 204-205)
平成 22 年 5 月 31 日



櫛田川 (地点: 203-204)
平成 22 年 6 月 1 日



一之瀬川 (地点: 076-077)
平成 22 年 7 月 30 日



宮川 (地点: 786-787)
平成 22 年 7 月 18 日



※図は今年度 4 回調査平均。
黄: ゴミ総量が 2,000ℓ/100m 以上の地点。
赤: ゴミ総量が 5,000ℓ/100m 以上の地点。

10km
©2009 ZENRIN CO.,LTD.



海岸ゴミの概要



海岸に漂着するゴミを調査したところ、今年度計4回の調査中全ての調査において、流木・灌木などの自然系のゴミが多く、全地点・今年度4回調査の平均で100㎡あたりに203.57kgもの量が漂着し、ゴミ全体の割合の実に88.5%を占めています。



生活系のゴミの割合も高く、全地点・今年度4回調査の平均で100㎡あたりに「飲料用プラボトル」が1.49kg、「食品の包装・容器」が1.76kg、生活系のゴミはゴミ全体の割合の4.8%を占めています。また、8月度調査では花火などのゴミが多く見られ、観光客の意識啓発や、観光シーズン後の海岸の管理など、一層の強化が必要です。



事業系の漂着物では、木材や農薬・肥料袋などが多く見られます。実際に漂着したものが投棄されたものかの判別は困難ですが、特に木材が多く、全地点・今年度4回調査の平均で100㎡あたりに2.60kgの量が漂着し、ゴミ全体の1.1%を占めています。



ゴミとして回収したライター等に表記された電話番号等をもとに地域を調べたところ、地点・今年度4回調査の合計で、三重県内の地名の書かれたものは42個、県外の地名の書かれたものは45個ありました。形状や刻印等で判断した国外産の判定では、7個が判定可能で、7個ともが中国となっています。

河川ゴミの概要



河川の状況を堤防などから調査した結果、1kmあたりのゴミの最も多い箇所(20ℓゴミ袋3袋以上のゴミが見られる箇所)では、今年度4回調査の合計で、宮川で約181箇所、雲出川で約146箇所、朝明川で約112箇所となっています。また、5月度調査時の安濃川では、一部の中流域を除いてほぼ全域にゴミが漂着していました。



また、1kmあたりのゴミの量では、今年度4回調査の平均で、宮川で約236,264ℓ、雲出川で約85,632ℓ、「安濃川」で約65,490ℓなどとなっています。単位距離あたりのゴミの量では、安濃川で約3,945ℓ/km、外城田川で約3,653ℓ/km、宮川で約2,605ℓ/kmなどとなっています。



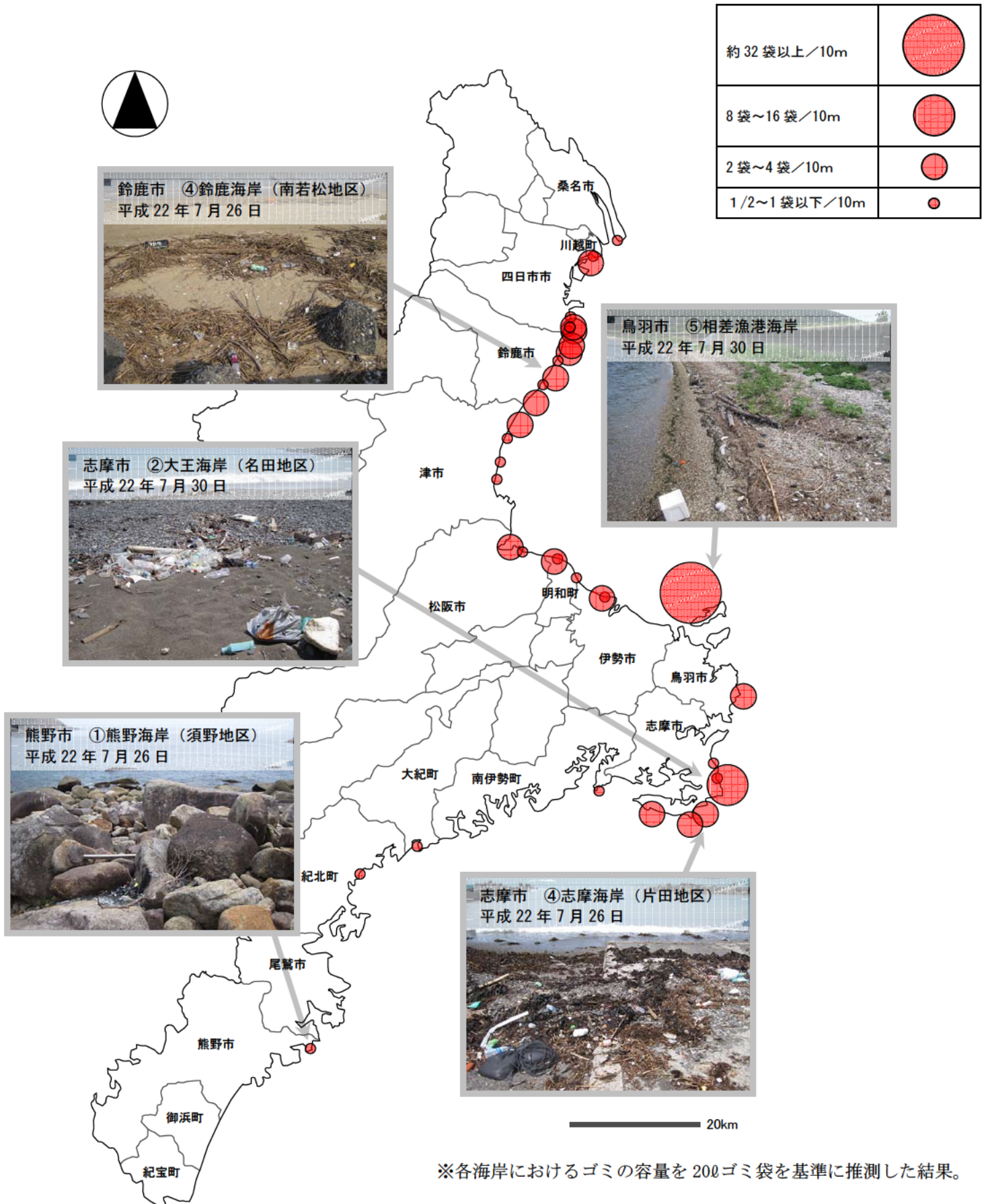
今年度計4回の調査中全ての調査において、灌木・流木などのその他(自然系)のゴミが多く見られました。宮川で最も多く見られ、今年度4回調査の平均で、それぞれ約389,285ℓ、約525,795ℓなどとなっています。河川延長の長い宮川では、上流部で大量の流木が断続的に漂着しているのが確認されています。

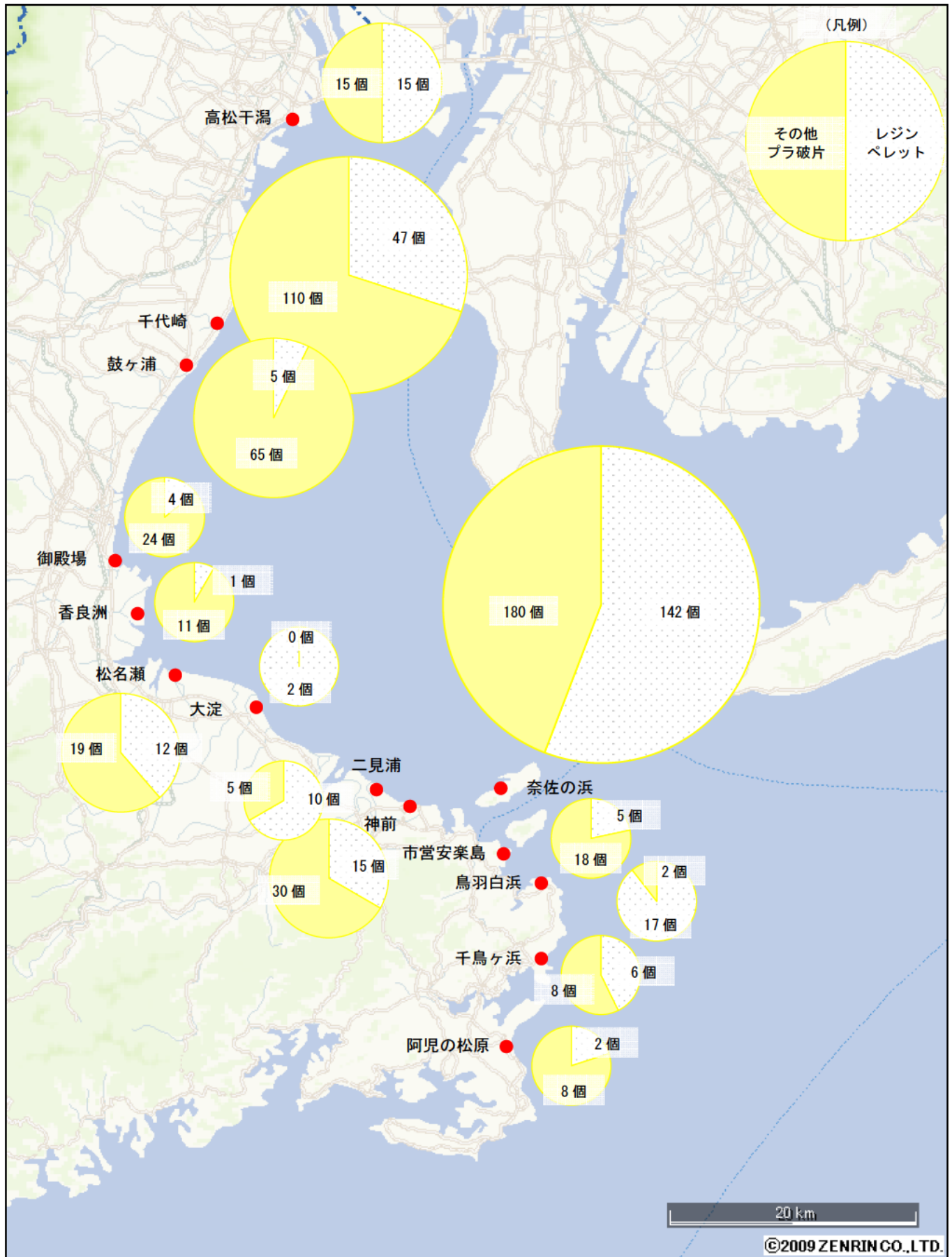


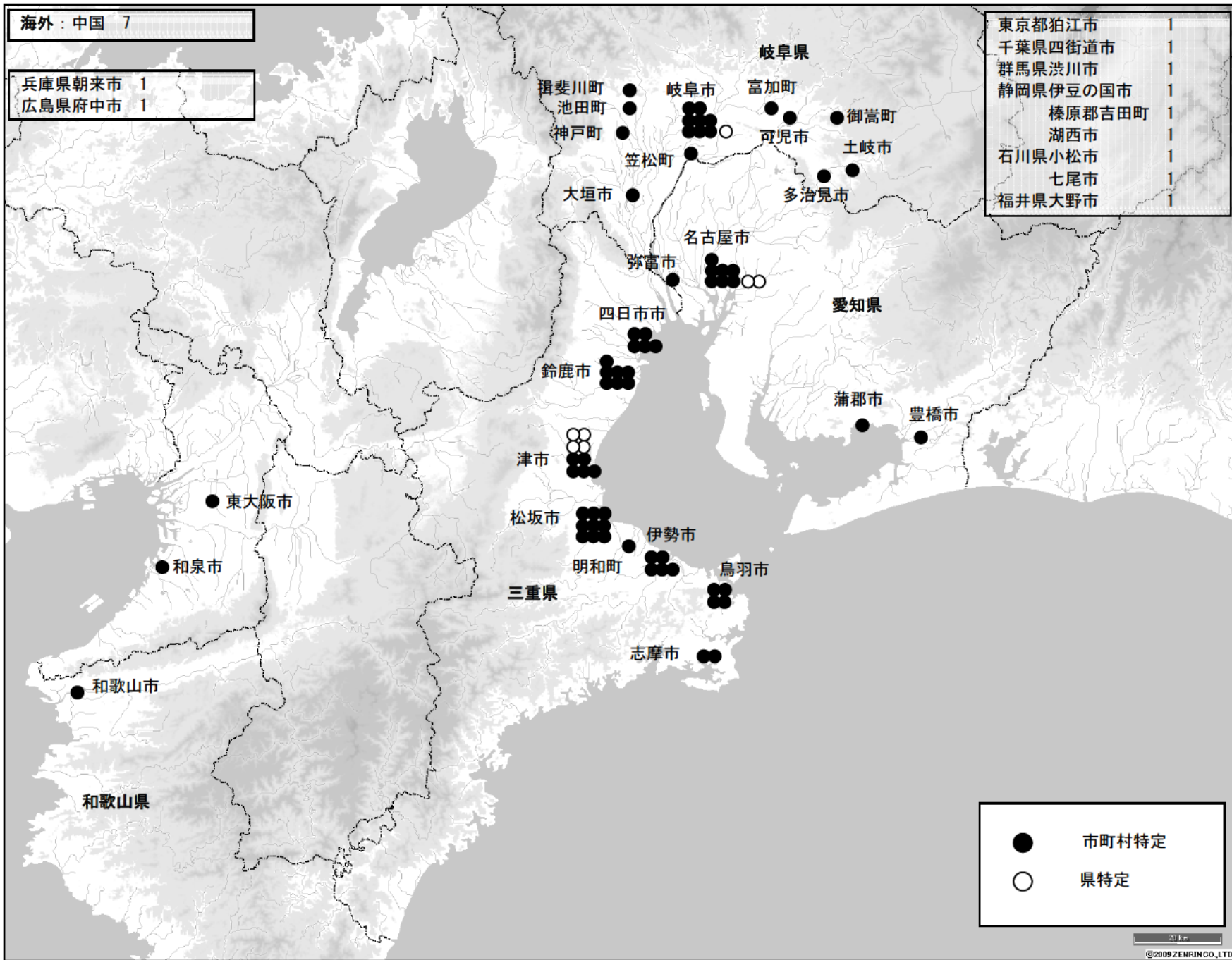
灌木・流木等に次いで多く見られるゴミは飲料用プラボトルで、今年度4回調査・全地点合計で実に約29,366ℓもの量が確認されました。また、食品の包装・容器も多く、同じく今年度4回調査・全地点合計で約13,356ℓの量が確認されています。

その他の調査結果

①海岸概況調査









平成 23 年 3 月
三重県環境森林部 水質改善室